



## マスターキュアー® 106

コンクリート用養生剤(水性タイプ)

## コンクリート用養生剤(水性タイプ)

# マスターキュアー<sup>®</sup> 106

マスターキュアー<sup>®</sup> 106 [MasterKure<sup>®</sup> 106] は、施工直後あるいは脱枠直後のコンクリートやモルタル表面に塗布する水性タイプの養生剤です。セメント系材料の初期材齢における保湿・保水効果を高め、セメントの水和反応を最適環境下で進行させることができますので、良好な養生効果が得られます。また、高強度コンクリートや高流動コンクリートの打設時に散布しますと、コテの滑りを向上させるとともに、水分の蒸発を抑制する効果により仕上げ作業時間の延長を可能にします。

## 特長

1. セメント系材料の初期材齢における水分の蒸発を抑制し、急激な乾燥によるプラスチックひび割れの発生を低減させます。
2. セメント系材料の水和反応を最適環境下で進行させます。
3. セメント系材料の養生が塗布・散布等の作業で容易に行えます。
4. 荒均しや仕上げ時におけるコンクリートの粘りを低減し、なめらかな仕上げ作業性が得られます。
5. 水性タイプの養生剤なので扱い易くかつ安全です。



## 物性

成分	外観	密度(g/cm <sup>3</sup> )	発火点	凍結点	有害性の分類
水性パラフィンワックス	淡乳黄色液体	0.95~1.00	該当せず	<0°C	該当せず*

\*平成13年厚生労働省/経済産業省告示第二号

## 用途

- コンクリート・モルタル等、セメント系材料の初期養生
- 高強度コンクリート、暑中コンクリートの表面仕上げ補助剤
- ノンブリーディングモルタルの表面仕上げ補助剤

## 標準使用量

- 養生剤としての使用量 70~100ml/m<sup>2</sup>
- 仕上げ補助剤・養生剤としての使用量  
1回散布法: 100~150ml/m<sup>2</sup>  
2回散布法: 1回目150ml/m<sup>2</sup>、2回目100~150ml/m<sup>2</sup>  
(2回散布法 最大散布量 300ml/m<sup>2</sup>)

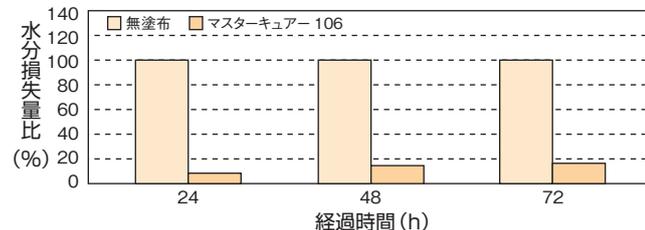
## 性能試験結果例

### 曲げ・圧縮強度試験結果

種類	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )		圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	
	7日	28日	7日	28日
無塗布	4.66 (100)	6.08 (100)	23.5 (100)	27.9 (100)
マスターキュアー 106	4.72 (101)	6.12 (101)	26.0 (111)	32.8 (118)

注.( )内は無塗布を100とした強度比を示す。

### 経過時間と水分損失量比の関係

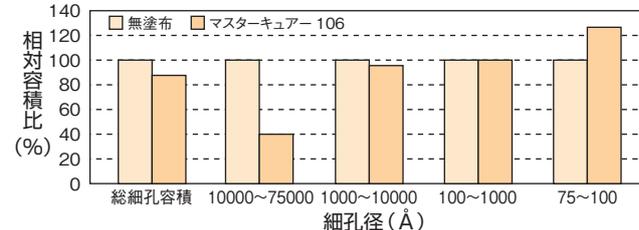


### 摩耗質量試験結果

種類	摩耗質量(g)	
	500回転	1000回転
無塗布	11.4 (100)	26.5 (100)
マスターキュアー 106	4.1 (36)	7.6 (29)

注.( )内は無塗布を100とした摩耗質量比を示す。

### 細孔径と相対容積比の関係



試験機関: 社団法人 建築研究振興協会

# 使用方法

## 養生剤としての使用方法

### 1) 施工直後あるいは脱枠直後のコンクリート・モルタル表面を養生する場合



マスターキュアー散布  
(標準散布量=70~100ml/m<sup>2</sup>)  
マスターキュアーをスプレーやローラーばけ等で  
均一に散布・塗布してください。

## 仕上げ補助剤・養生剤としての使用方法

### 1) 一般的な場合 (1回散布法)



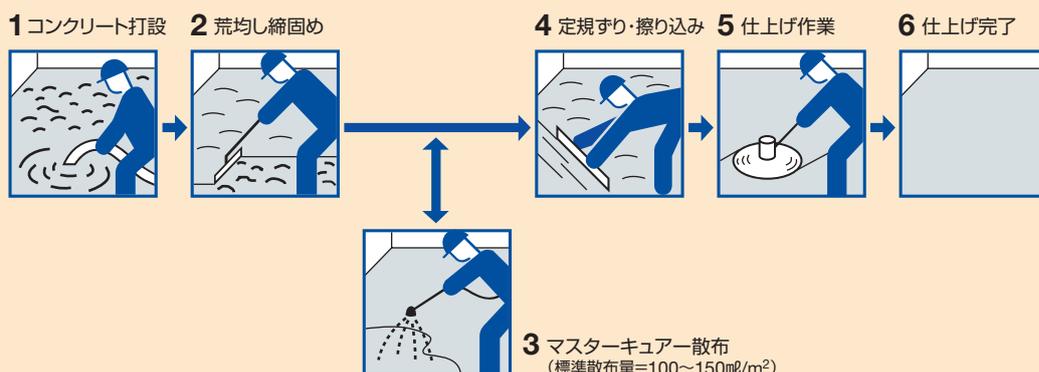
マスターキュアー散布  
(標準散布量=100~150ml/m<sup>2</sup>)  
マスターキュアーをスプレーやジョウロ等で散布  
しながら、仕上げ作業を行ってください。

### 2) 均し作業がしにくいコンクリートの場合 (2回散布法) (例: 高強度コンクリート)



仕上げ作業が困難な場合、最少量のマスター  
キュアーを使用し、確実にコンクリートへ擦り込  
みを行ってください。  
(標準散布量=100~150ml/m<sup>2</sup>)

### 3) 床仕上げ材 (Pタイルや樹脂系塗り床材等) を適用する場合 (1回散布法)



## 施工上の注意事項

1. マスターキュアー 106は、仕上げの時期を逸したコンクリートのタイミングをもどすためには使用しないでください。それを行うと表層ノロが剥がれる場合があります。
2. 本品を使用して仕上げたコンクリート面をシート養生する場合は、コンクリートが十分に締ってから行ってください。
3. ブリーディング水の多いコンクリートでは、ブリーディングがおさまってからマスターキュアーを散布してください。
4. 本品をコンクリート仕上げ補助剤および養生剤として使用し、仕上げ材を適用する場合、荒均し時に散布して擦り込みをセメント色になるまで十分に行なってください。なお、仕上げ材がハジキを生じる場合は、ポリッシャー程度のサンディング処理を行なってください。
5. 本品をコンクリート仕上げ後の膜養生剤として使用し、仕上げ材を適用する場合は付着を確保するためにマスターキュアー 106を各仕上げ材に適した処理方法で除去してください(例:ポリッシャーによるサンディング、切削機による研削目粗し、高圧洗浄機による除去等)。

## 使用及び取扱上の注意事項

1. 本品はセメント系材料の養生・コテ仕上げ助剤以外の目的には使用しないでください。
2. 使用時には、本品をよく攪拌してください。また、水を加えないでください。
3. 屋外では、降雨時および0℃以下になることが予想される場合の施工は避けてください。
4. 塗布作業後、施工面が凍結しないように注意してください。
5. 本品をトンネル等の用途で使用の場合、環境条件によりカビが発生することがありますので使用しないでください。
6. 本品の保管は直射日光を避け、0℃以上の室内に保管し、使用後は容器の蓋を正しく閉じて保管してください。また製造後300日をを超えて保存されたものは使用しないでください。
7. 取り扱いに当たっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
8. 目、皮膚に対して刺激性があり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
9. 目に入った場合には、速やかに清浄な水で十分に洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
10. 皮膚に付着した場合には、速やかに水と石鹸等で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
11. 飲み込んだ場合には、多量の水を飲み込ませ吐かせた後、専門医の診察を受けてください。
12. 詳細はMSDSを御覧ください。

## 包装形態

18ℓ/缶

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りのエリアまでご連絡ください。

[www.master-builders-pozzoliith.basf.co.jp](http://www.master-builders-pozzoliith.basf.co.jp)

## BASF ジャパン株式会社 建設化学品事業部

東京本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階 (〒106-6121)  
(代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980

東北エリア 宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島、北海道 TEL 022-796-9570 FAX 022-796-9572

関東エリア 東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬  
新潟、長野、山梨、静岡 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960

関西エリア 大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫、愛知、三重  
岐阜、富山、石川、福井、香川、徳島、高知、愛媛 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244

九州エリア 福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄  
山口、広島、島根、岡山、鳥取 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273

●◎：世界各国におけるBASFグループの登録商標です。  
●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。  
●方が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいますようお願い致します。  
●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。  
●BASFジャパン(株)建設化学品事業部は、茅ヶ崎工場及び茅ヶ崎技術開発センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

